



NAGASAKI
MONO-GRAPH

18 有限会社 アクティヴ

ユウゲンガイシャ アクティヴ

毎日の暮らしをアクティヴに

家づくりは十人十色。お客さまの声にしっかり耳を傾けながら、それぞれの夢をカタチにできる家づくりのパートナーでありたい。そんな思いを支えているのが4つの力。3Dグラフィックによる建築パースで希望のプランを「提案」し、軽快なフットワークで「迅速」に対応する。さらに担当の営業マンが毎日現場に足を運び、最初から最後まできめ細やかにサポートする「安心」感。そしてムダなコストを削減し、快適な住まいを適正な「価格」で提供することも忘れずに。こうした新築やリフォーム以外にも解体や産業廃棄物処理、リサイクル事業など業務内容は多岐にわたる。なかでもユニークなのが塩づくり。建物を解体した際に出る廃材を燃やし、五島の海水を薪釜でじっくり時間をかけて煮詰めていく。「溶岩塩」と名づけたその塩は甘くておいしいと評判を呼び、長崎県外にも販路を広げている。新築もリサイクルも、塩づくりも。すべてに共通しているのは、美しいふるさとへの愛だ。





環境に配慮した建設廃材のリサイクル事業で
離島の産業の活性化を図る

｜ 補助事業のきっかけ ｜

緑豊かな自然や美しい海ふるさとの環境を守りたい

美しい海に囲まれた五島列島。島内に最終処分場がないため、住宅やビルなどの建造物の解体や改修工事が出るコンクリート塊、金属片、廃瓦などの建設廃材は島外へ運ばなければならない。しかし、処理費用が高くつくためコスト圧迫の大きな要因に。また建設廃材の約50%以上は埋め立て処分されており、将来的な環境問題に発展することも危惧される。

｜ 補助事業の内容 ｜

捨てられてしまう建築廃材に再び建設資材としての価値を

頭を悩ませている建設廃材を有効活用したいという思いから粉碎機を導入。1日に約5トンの処理能力があり、1回の使用で投入原料のほぼ全量が目的とするサイズに加工できる粉碎効率を誇る。こうして効率的に廃材を加工することで新たな建設資材としてリサイクルし、製品化を目指す。それと同時に、魅力ある職場を再構築し、島の活性化にも貢献をしたい。

｜ 補助事業の成果 ｜

多種多様な廃棄物を再利用する未来を見据えた事業で一步先へ

廃瓦はエクステリアタイル、廃ガラスは化粧塗壁材、廃木材・プラスチック類はバイオマス燃料として再利用。その結果、約200万円かかっていた1年間の産廃費用が130万円程度にコストダウン。建設資材購入費用も200万円ほどの削減が見込め、地元の顧客により安い工事価格を提案できる。島内にはこうした再利用に取り組む事業所がないため、自社の強みとしてアピールしていく。

Information	会社名	有限会社 アクティヴ	
	住所 連絡先	五島市三尾野町3-6-7 ☎0959-74-2359 FAX.0959-74-3102 https://www.goto-active.com ✉kanda.n@goto-active.com	
<p>□代表取締役 浦上 輝之 □設立 2004年9月24日 □資本金 500万円 □業種 総合工事業 □従業員 13名</p>			

